

「関東ブロックにおける社会資本整備重点計画」に対する御意見

氏名	所属
朝倉 康夫	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

■ご意見の内容(1/1)

1. 第5次社会資本整備重点計画(全国計画)について、短期目標5「インフラ分野のDX」については目標でなく手段ではないか、また、短期目標6「インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上」は短期目標2「持続可能なインフラメンテナンス」と短期目標3「持続可能な地域社会の形成」に吸収される内容である。
2. 重点目標1で「防災・減災が主流となる社会の実現」と記載されているが、主流にはならないのではないかと。安全安心な社会の実現こそが目標であり、防災・減災に配慮するという形であれば分かる。
3. 重点目標1では施設整備についての記載がある。リスクの高い場所に多く人が住むことにより災害が発生している一面がある。短期では難しいかもしれないが、リスクのある場所には住まないで経済活動を抑制する制度の整備などもあり得る。
4. 大規模広域避難の問題についても言及する必要がある。また、安全安心にはコロナ(防疫)の話も出てくるべきだ。自然災害だけでなく社会的な安全についても検討すべき。
5. 各小目標のKPIIについては整備効果としてB/Cだけではなく、各事業の整備効果指標として一体的に確認していくことが有効となる。
6. 重点目標3「持続可能で暮らしやすい地域社会の実現」について、MaaSなど複数交通手段の連携等の具体的な取り組みがあった方が良い。特に地方部では既存リソースを有効活用することが重要である。交通政策への踏み込みがあってもいいように感じる。